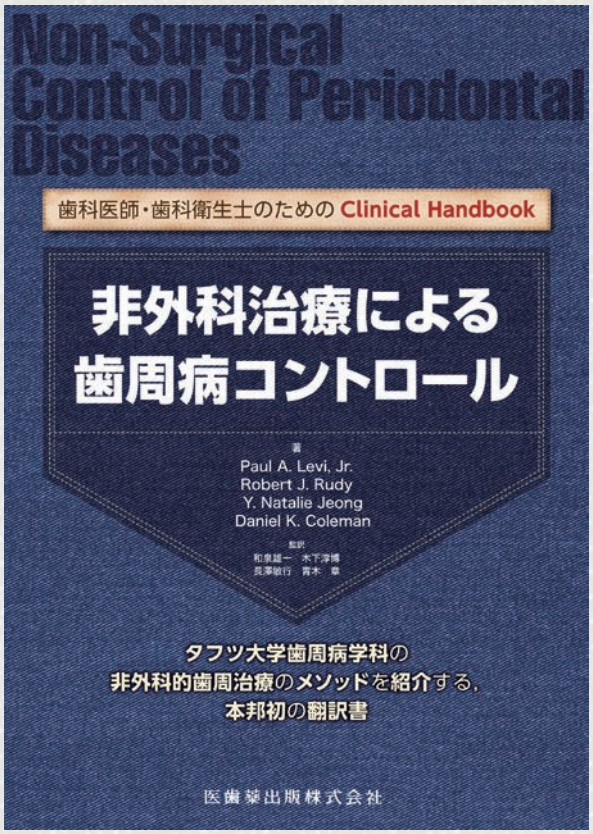
私が推薦します！

B5判／240頁／カラー
定価（本体10,000円＋税）

タフツ大学
歯周病学科の
非外科的歯周治療の
メソッドを紹介する，
本邦初の翻訳書

アメリカ歯周病学の
過去と未来をつなぐ
記念碑的な一冊！



和泉 雄一・長澤 敏行・木下 淳博・青木 章　監訳

CONTENTS

1章　基礎
2章　患者の能力を高める：コンプライアンスからコンコーダンスへ
3章　患者によるプラーク除去方法
4章　患者の検査と評価
5章　歯肉炎・歯周炎の診断や基本治療における器具の使用法
6章　治療
7章　補助的療法
8章　長期的予後のために必要な歯周メインテナンス治療
9章　結語

二階堂 雅彦
（東京都中央区・二階堂歯科医院）

アメリカの歯周病学界はダイナミックに変化している．筆者がタフツ大学で学んだ1990年代後半は，従来の歯周ポケットの治療を主体とする学問からインプラントを中心とする学問へと舵を切りはじめたころで，21世紀に入るとその流れはさらに加速し現在に至っている．

そんななかで出版された本書，『歯科医師・歯科衛生士のためのClinical Handbook　非外科治療による歯周病コントロール』は，インプラントを中心とする現在の歯周病学を“New Periodontology”とすれば，“Old”な歯周病学の集大成というべきものであろう．

筆頭著者のDr. Paul Leviは開業のかたわらタフツ大学，ハーバード大学で長く教育に携わり，歯周病学に対する真摯な取り組み，学生に対する慈愛あふれた教育から，誰からも尊敬される素晴らしい教育者である．また，Dr. Robert Rudyもタフツ大学で学部生の歯周病学教育（つまりは非外科治療）に長く携わってきた方である．

本書のはじめに「Dr. Irving Glickmanに捧ぐ」という一文がある通り，Dr. Glickmanはタフツ大学歯周病科の祖であり，近代歯周病学の父である．Dr. LeviはそのGlickman’s childrenとして，歯周病治療でもっとも重要な治療である非外科治療の伝統をきちんとした形で残したいという使命感からこの書を著したのではないかと思う．和泉雄一名誉教授以下，東京医科歯科大学歯周病学分野チームによる翻訳も，豊富な訳注とともに適確である．本書はまさにアメリカ歯周病学の過去と未来をつなぐ記念碑的な書である．また，Dr.Leviにちなんだ表紙のジーンズ柄は編集者の小粋なユーモアだ．

医歯薬出版株式会社　〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10　TEL03-5395-7630　FAX03-5395-7633　https://www.ishiyaku.co.jp/